

取組み案（西海市）

項目	タイトル	内容
ア		
イ		
ウ	コミュニティーバス(離島など)	タクシー等の利用が困難な地域の情報手段の確保 対象は、交通弱者や高齢等の理由で免許証を返納した方。
エ	情報共有の範囲について学ぶ	場所:日曜日など西海市内で1~2箇所 内容:守秘義務違反などに抵触しないか 上手く利用していくと異職種との共有にならないか 研修を行う
	各職種が連携し情報共有して個人を支える。	各職種(医師・看護師・薬剤師・ヘルパー・ケアマネ・配食など)いずれかが、毎日訪問して切れ間なく状態を把握する。 ケアマネが情報をまとめる。もしくはSNSでグループを作る。
	情報交換会(他の職能団体との交流会)	水曜日の午後。コーヒー・お菓子を用意して、顔を合わせて最近のことをお互いの情報を共有する(愚痴もあり)。
オ	他職種間の関係づくり(『カ』にも入力)	西海市独自の医療・介護・保健のネットワークをつくる(ITによる情報交換)。 縦の繋がりはできているので、他事業所・他職種が参加できる地域ケア会議を活発に。 医師・歯科医師が参加しやすい体制での場の設定(病院の待合室など。飲み会)。
カ	他の職能団体と交流会	日時:火曜日 19:00~1時間程度 場所:各地区で、介護認定審査会が開催される様な所 対象者:医師、看護師、ケアマネ、介護職、PT.OT.ST、保健師など 内容:最近困った症例等を挙げ話し合う。 ケアマネやDr様々な職種の方との情報交換の場とする。 Drとの上手な付き合い方。
	自分の専門職としてモチベーションをどう持ち続けるか 離職が減り、今の仕事に誇りが持てる	気軽に集まれる場作り 自分の職場だけでなく、他事業者との繋がりを作る。
	他職種間の関係づくり(『オ』にも入力)	西海市独自の医療・介護・保健のネットワークをつくる(ITによる情報交換)。 縦の繋がりはできているので、他事業所・他職種が参加できる地域ケア会議を活発に。 医師・歯科医師が参加しやすい体制での場の設定(病院の待合室など。飲み会)。
キ	住民へ介護等のサービス紹介	
	PT・OTなど専門職による勉強会	介護は介護予防が大事 食事・薬・リハビリ・認知症介護教室など 公民館単位で地域住民への開催
	薬剤師、認知症専門病院など多職種連携での実施	
ク		
不明	多業種を巻き込んだ連携の拡大	移動販売・郵便配達などから気になる時にどこに連絡するのか、フォローチャートを作成する(民生委員が行かない世帯の情報収集) 関係者の会議を医療機関で開催する。医師と顔の見える関係づくり
	若い世代の医療・介護・福祉等の情報を得る場をつくる。	若い人が集まる場所づくり 合コン